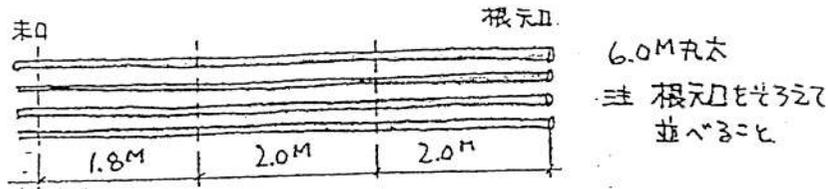
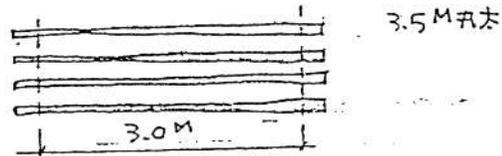


A 準備

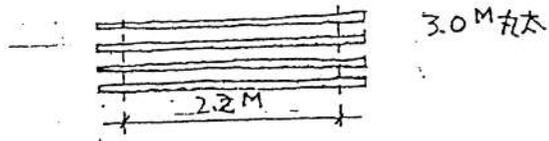
6.0M, 3.5M, 3.0M, 2.0M の丸太を4本1組として並べて、下図の寸法の所にしるしをつける。



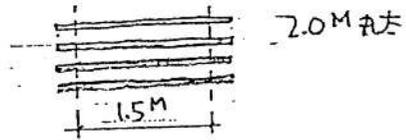
6.0M丸太
注 根元をそろえて並べること



3.5M丸太



3.0M丸太

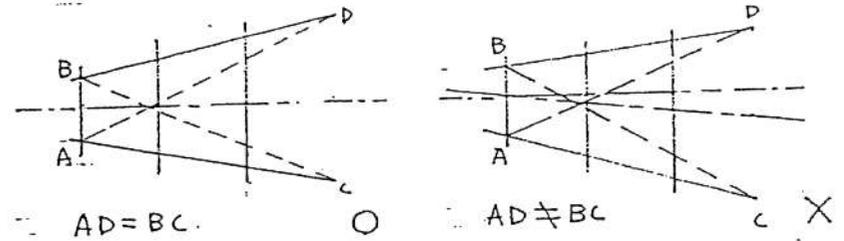


2.0M丸太

注1 2組は同じ型にする

注2 真中の線に対左右同じ型にする。

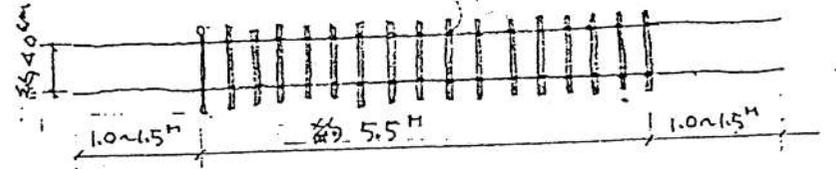
注3 真中の線に対し、横丸太(3.5M, 3.0M, 2.0Mの丸太)は直角に交わっていること。



注4 筋違はしかりと結ぶこと。

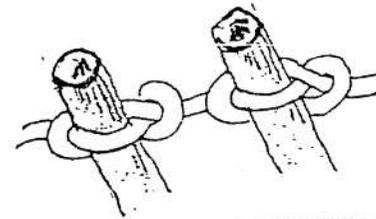
3 なか梯子を作る。

下コ 結わ又は巻キ結わ

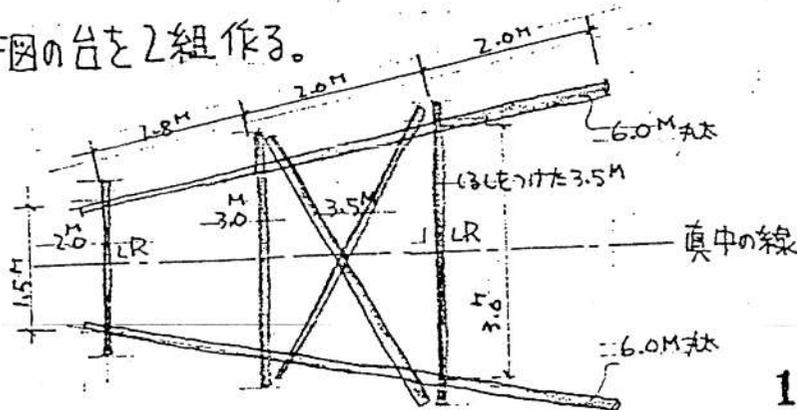


注1 各横の木(投丸太)は等間隔であること。

注2 作る時ロ-70の先端を杭に固定してから作り始めるといい。

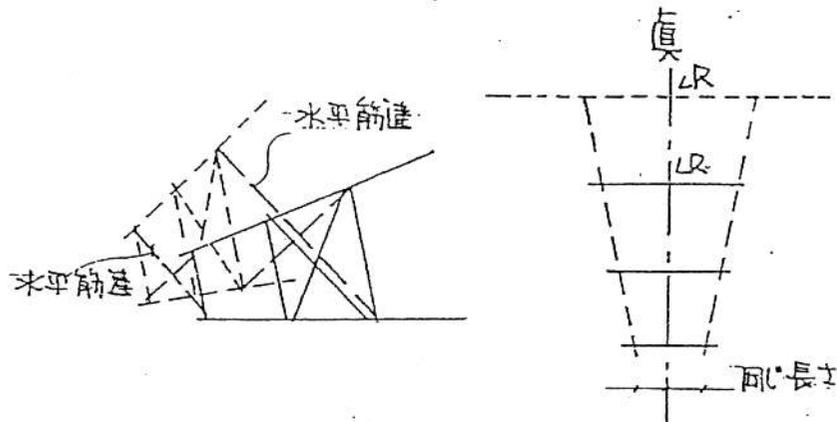


2 下図の台を2組作る。



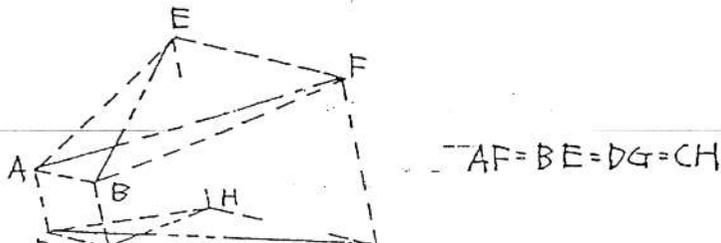
B 組み立て.

- 1 準備2で作った台2組の脚に(横に向合せて横に(た時上になる丸太)筋違丸太(水平筋違)を取り付ける。
- 2 水平筋違いた取付けた台2組を横に向合せて位置を決める。



- 3 倒れない様に水平筋違を強く結ぶ
- 4 準備1でくしをつけた 3.5M, 3.0M, 2.0M の丸太を各々上と下に取り着ける

注1 各対角線の長さは皆同じ長さとする。
 注2 取り付ける横丸太は各々真中の線に直角



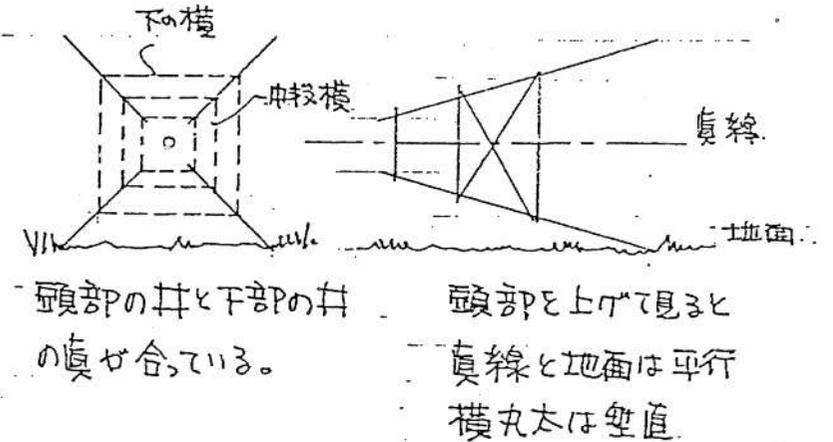
5 筋違丸太 3.5M を取り付ける。

6 台の上の 2.0M 丸太を取り付ける。

7 なわ梯子を取り付ける。

8 台を起す時に引張る 0-7° を 4本取り付ける。

C 点検.



D 起す.

1 4本の 0-7° を使って起す。

注1 引張る 2本の 0-7° の方向を考慮。

注2 引張り過ぎない様に他の 2本にもスカーフは勾配をつけて。

2 台の踊場丸太, 手摺丸太を取り付ける。